

「エストニアに聖霊の火が燃え上がっています」

ホセ・モラレス(事業家、エストニア・タリン在住)



私たち夫婦はメキシコとエストニア、二つの国籍を持っています。2003年頃からは妻の祖国エストニアに住んでいます。ここで私たちは聖霊に満たされてそのみわざが現れる教会を探しましたが、そんな教会を見つけることは容易ではありませんでした。このため、神の超自然的な助けと祝福があるように祈ってきました。外国から助けてくださる方を遣わされてでも、聖霊を思いきり注いでくださることを求めました。

信仰の成長のためにエストニアを離れようとしたが

実際、私は聖霊に満たされた教会を探すために、多くの教会に通いました。けれど飽き足りなくて、アメリカへ向かおうとしました。その理由は、良いクリスチャンたちとその家庭に出会いがあったからです。また、アメリカの数多くの聖徒の支援で、エストニアにリバイバルをもたらすためでした。そのうち昨年の夏、サムエル(キム・スノ)執事一行に出会いました。自分の息子の名前と同じだったし、彼が新生したクリスチャンだと知って、あまりにもうれしくて抱き合いました。彼と話してわかったのですが、10月30

日から二日間開かれる「イ・ジェロク牧師招へいエストニア連合聖会」を準備しに来たチームだったのです。私たち夫婦は7年間の祈りの答えと確信して、喜びました。このチームが準備のために長期間泊る所を問い合わせると、私は賃貸に出したアパートに泊ってもらいました。

宣教チームから聞いた聖霊の福音に感動して

私は聖会準備チームと一緒に、毎朝自宅で祈り会を持ちました。早朝から毎日3時間お客さんの世話をするのは楽なことではありません。ですが、彼らと一緒に時間は私にとって祝福であり、喜びでした。彼らの恵み深くてきよい行いを見ながら、まるで天国にいるようでした。私の家族の聖めのために神が送ってくださったプレゼントでした。私たち夫婦は今までTBNとGod'sテレビで最高の牧会者たちの説教を聞きまし。けれど、イ・ジェロク牧師の説教のように完璧で深みのある説教、そして聖なるメッセージは聞けませんでした。聖霊の福音は力があって真実でした。また、創造主

の神とその方の摂理をよく解き明かしてくださいました。このようなメッセージを聞いて、聖霊に満たされました。毎日心一つにして一時間祈って、霊的な交わりをしながら幸せに聖会を準備しました。

エストニア連合聖会に参加して、驚くべき神の力あるわざを体験

聖会を数日後に控えて、私の家族がイ・ジェロク先生にお目にかかった時は、聖霊の強い臨在を体験しました。義理の母はかかとの痛みがいやされたし、祈りのメンバーであるミルピラという女性聖徒は聴力が良くなりました。この方は幻の賜物がある方です。ある人物について祈ると、よくいろいろな姿を見たりします。ある日、祈り会の時、この方が「イ・ジェロク先生の本は天の果てまで届いて、その根は地の果てまで伸びていて、周りに数多くの御使いと主がともにおられる」と聖霊に満されて証しました。

まさにこのような牧師が私たちのエストニアまで来て、二日間聖会を導かれたのです。説教後、講壇で祈っただけでも、車椅子から立ち上がり、視力が回復し、各種の病気がいやされる姿は驚くべきでした。心を尽くした愛と献身、忠実、そして神にだけ栄光を帰す姿に大いに恵みを受けました。

私たちの主イエス・キリストの呼び名についての正確な教えにも、感動しました。「イエス」と「イエス・キリスト」の違いについて、どこでも聞いたことのない特別な内容でした。なぜなら、特にラテンアメリカではJesusという名前があまりにもありふれているからです。

「イエス」とは十字架を負われる前の呼び名(マタイ1:21)だから、私たちが祈る時には「イエス・キリスト」の御名によって祈るべきだという話は至極当然のことでした。今、これを書いているこの瞬間も、私は御霊に感じて泣いています。

本や放送を通してエストニアに燃え上がる聖霊の炎 私たちはイ・ジェロク先生の著書(十字架のことば・私の人生、私の信仰・天国など)を読んで励まされ、その知恵ある教えに

よって昼夜祈りながら、主に似せられてくださいました。先生の著書は聖霊に動かされて記されたことが確かに感じられます。大いに恵みを受けています。それだけでなく、毎週主日朝8時にインターネット生放送で万民中央教会の主日夕方礼拝と一緒にささげています。

連合聖会以後、いくつかの地域と島から、計100人以上が集まって、6回の祈り会を持ちました。この集まりを通して、多くのいやしのみわざと奇しいわざが現れています。特に、6回目の集まりは連合聖会の場所でありましたが、黄金の光が下りるしるしが現れて、女性聖徒たちの手が金色の紙のように見えるほどでした。みな大喜びでした。この集まりはノルウェーから来たトールビヨーン(Thorbjorn)牧師が導かれました。

もうエストニアは以前と違うと思います。聖霊の炎がめらめらと燃えています。祈りのメンバーは合法的で公式的な国際キリスト教共同体(Global Christian Community)を作り、海外交流とキリスト教行事業務を担当しています。「燃える柴(The Burning Bush)」という団体も組織しました。この団体は国内キリスト教業務のためのもので、祈り会、聖書の学び、教育、聖会、相談、老人保護、麻薬中毒、福祉など多様な働きをしています。究極的な目的は、イエス・キリストを教えて、神の栄光のために働くことです。また、麻薬更生院を運営しているマート・セラ牧師と協力することによって、多くの人々がアルコール、麻薬中毒、性犯罪などの罪の奴隷から抜け出し、主へ立ち返ると確信しています。私たちは続けてこのような集まりを持ちながら組織の基盤を固め、エストニアのリバイバル運動に努めるつもりです。

万民中央教会の宣教チームを送ってくださり、エストニアに聖霊の炎が燃えるように働いておられる神に、すべての感謝と栄光をささげます。



連合聖会準備の祈り会後、ホセ・モラレス聖徒(椅子右)、現地の牧会者と聖徒たち、宣教チーム。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNBS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市栗切石 3883-4
T) 0265-56-8286
http://fidamanmin.to/cx/
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中西百舌鳥町
5-775-15
T) 072-220-5289
http://www.osmanmin.com/
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
http://tabata.manmin.or.kr/

- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339
- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
http://www.manmin.jp/
- ・岡山万民教会
〒718-0005 岡山県新見市上市56フラワーコート
T) 0867-72-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト静岡万民教会
〒311-2102 茨城県鉾田市台湾1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843

01 ニュース

放送による世界宣教に拍車をかける！
マンミン・テレビがアメリカNRBとフィリピンFICAPに参加、他のキリスト教放送局との協力により宣教ネットワークがさらに拡大されつつある。

02 いのちのみことば

平和を保ちなさい
神とすべての人とも平和を保つ人は、霊内どもに大いに祝福され、主にお目にかかる資格がいただける。
ジョン・グボン牧師、クワ警察署で特講

03 信仰相談

保証人、なるべきか？ 断るべきか？
友だちが保証人になってくれと言ふ。人を助けることは良いことだから、保証人になるべきだろうか？ 聖書にはこれについてどの神のみことばが明らかに記されている。

04 証し

「エストニアに燃え上がる聖霊の炎」
まことの牧者に出会わせてくださいと7年間祈って答えられたエストニアのタリンに住むホセ・モラレス聖徒。今、エストニアでは聖霊の炎が燃えている。彼が伝える恵みと感動あふれる証し。

万民ニュース

第101号 2011年 3月 27日
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

放送による世界宣教に拍車をかける！

マンミン・テレビ、アメリカNRBとフィリピンFICAP参加、放送ネットワーク拡大

本教会はテレビを利用した福音宣教を積極的に進めている。

2月26日から3月1日まで、アメリカ・テネシー州ナッシュビルで開催された世界キリスト教放送人の祝祭、第68回NRB総会および博覧会に本教会のマンミン・テレビが参加し、メディア団体および放送局と協力を固めた。

マンミン・テレビは2月26日、国際レセプションとNRB総会開幕式に参加した。今回の博覧会には世界から6千人以上のキリスト教放送人と200余りの関連団体が参加した。「メディア・リーダーシップ」の晩餐会にはジョン・ペイナー米連邦下院議長も参加した。

今回、マンミン・テレビはFULL HDで製作した説教番組「創世記講解」とエストニア連合聖会、教会創立28周年記念公演を重点的にPRし好評だった。また、多国語に翻訳された信仰書とマンミンの甘い水を展示、訪問者の関心を集めた。マンミン・テレビのブースには多くのVIPが訪問した。昨年、本教会を訪問したフランクリン・ライトNRB会長は当時の聖徒たちの歓待に感謝すると伝えた。秘書リンダ・スミス氏は「イ・ジェロク牧師の信仰書を読んで、信仰がさらに強められました」と証した。この他にも故ビル・ブライト博士(CCC設立者)のゴネット夫人、ANSウディン代表、スペイン語圏キリスト教放送人協会COICOMのインズ会長、CNLのマグシオフ社長、「イン・ビクトリー」と「クリスチャン・テレグラフ」のペルボバツツ会長夫妻が訪問した。また、イ牧師の説教番組を放送しているTBNロシアのニキーチン社長は「多くの人がイ・ジェロク牧師の説教でイエス・キリストを受け入れていやされている。毎日多くの手紙とEメール、電話で視聴者の感想と証



第68回NRBでのマンミン・テレビのブース(写真①) FICAPタノ会長より感謝の盾を贈呈されたマンミン・テレビのイ・ジョンホ社長(写真②) フランクリン・ライトNRB会長(写真③)イ・ジェロク牧師の著書を手に入れているNRBスタッフ(写真④) 南アフリカTWRラジオ放送と番組供給合意(写真⑤) インスCOICOM会長(写真⑥) 訪問客に説明しているマンミン・テレビのスタッフ(写真⑦)

しが寄せられています」と語った。マンミン・テレビは本教会の放送宣教をさらに活発に進めるため、世界の放送ネットワークに連なる放送局と協力を確かめ合った。アメリカのパラブルズ・テレビとKAXLテレビ、KCAHラジオ、インドネシアのUチャンネルと番組供給協約を結び、イランのネットワーク・セブンテレビ、イギリスのグレイ・ウィキンス・プロダクション、ドイツのプロビジョン・インター

ナショナルなど7か国12のキリスト教放送局および関連団体と協力を合意した。イランのネットワーク・セブンテレビのマニ・アーファン社長は「中東には主のいやしと神の力あるわざがどうしても必要です。聖霊の福音と神の力あるわざを伝えているマンミンの働きは中東に大きい影響を及ぼすでしょう」と述べた。また、マンミン・テレビは3月1日から5日までフィリピン・マニラで開

かれた第12回フィリピン国際ケーブルテレビ博覧会(FICAP)に参加した。フィリピン有数の放送局が集まったこの機会に、マンミン・テレビは15の放送局と契約を結んだ。これでフィリピン全域に100以上のチャンネルでマンミンの働

きが伝えられるようになった。今後、マンミン・テレビは全世界をカバーする緊密な放送ネットワークを構築し、GCN世界キリスト教放送ネットワーク受信地域を拡大し、聖霊の福音と神の力あるわざをさらに活発に伝えていくだろう。

東北地方太平洋沖地震により被害に遭われた地域の皆様に謹んでお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を主の御名によってお祈り申し上げます。



堂会長イ・ジェロク牧師

すべてのことに 平和を追い求めなさい

【主】は、人の行いを喜ぶとき、その人の敵をも、その人と和らげる。(箴言16:7)

石でも角張った石はのみで穿たれます。性格が角張ってれば、あちこちで多くの人とぶつかって、互いに苦しむようになります。しかし、性格が円満な人は多くの人とよく調和をなして、平和を保って生きられます。このような人とは接していても心が安らぎ、平和を保ちやすいのです。それでは、なぜ人は平和をつくらぬのでしょうか？ また、平和をつくる時に受ける祝福は何でしょうか？

1. 平和の重要性

〈ヘブル12:14〉に「すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見る事ができません。」とあり、〈マタイ5:9〉にも「平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。」とあります。すなわち、すべての人との平和を追い求める人が神の子どもと呼ばれる、主にお目にかかれます。したがって、すべてのことに平和を追い求める人は霊肉ともに大いに祝福されます。

本教会のある家庭は、主を信じる前は互いに平和をつくるうとしてもできませんでした。それぞれ自分の思いと欲、自分の生き方、自分なりのやり方があったからです。ところが、この家庭が信仰によって驚くほど変えられました。家族のひとりがイエス・キリストを受け入れたのです。

さほど経たないうちに家庭が福音化されて、家族の集まりの時、真理の話をするようになり、暗やみが退き始めました。自分の意見を言い張るのではなく、相手の

益を求めて、互いに低くなって、理解と赦しの心で集まって話をするので、以前の姿は見られなくなりました。また、会えば神のみことばをもって話をし、賛美して、問題が起これば互いに断食して祈りました。

神は、愛する子どもたちが和やかな家庭をつくって、親と兄弟の間に平和を保つことを望まれます。すべてのことに平和を追い求めていると、祈りに答えられて良いことがやって来るからです。したがって、神の子どもなら、すべての人との平和を追い求めるよう努め、和やかな家庭をつくらなければなりません。

2. 不和や争いが起きる理由

イエス・キリストだけがまことであり、真理であります。ところが、ほとんどの人はイエス・キリストから教わったのではなく、いろいろな人々から教わって成長しました。小さい時は親や学校の先生から学んで、自分なりの知識と思いで、理論の体系を立てていきます。成長しながら、さまざまな人がそれぞれ自分の主観に合わせて書いた本を読んで感動して、その作家の思想を頭に入力させたりします。

このように、周りの環境や教多くの人を通して正しいと思われる知識や理論を受け入れたので、人によって知恵と知識、考え方や良心が違ってくるしかありません。皆が全く同じならば一致して平和をつくるはずなのに、皆が違わらなければならぬのです。

したがって、皆さんは何が正しくて正しくないのか、神のみことばである真理によって見分け、

真理で一つにならなければなりません。真理の人にええられれば、理解して愛し合うようになりますので、すべてのことに平和を保つようになります。そうでないなら、自分の思いと理論が正しいと思っ生きていくので、苦しみがありません。

3. 平和の祝福を受けるには

〈箴言16:7〉に【主】は、人の行いを喜ぶとき、その人の敵をも、その人と和らげる。」とあります。人が神である【主】に喜ばれるなら、ご自分で敵をもその人と和らげて、すべての問題を解決して下さるということです。

それでは、どうすれば神に喜ばれるでしょうか？

まずは神のみことばを聞くことを慕って、礼拝をささげることを楽しまなければなりません。〈箴言8:17〉に「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つかる。」とあるので、神を愛してみことばを聞くことを楽しみ、熱心に礼拝に参加して祈り、みことばにおり生きてこそ、神に愛されて祈りにも答えられるのです。

また、神の法に従っていき、心の聖い真理の人にならなければなりません。神が一番喜ばれることは罪を捨てて聖められ、まことの義人になることなので、真理に従わなければなりません。

それだけでなく、〈ヘブル11:6〉に「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求めらる者には報いて下さる方であることを、信じなければならぬのです。」とあるので、信仰によって行わなければなりません。信仰

によって熱心に伝道して、良いわざを行うと、神が喜ばれて祝福として報いて下さるのです。

愛する聖徒の皆さん、

すべてのことに平和を追い求めるためには、何よりもまず神と平和を保っていなければなりません。そのためにはイエス・キリストを受け入れて罪の赦しを得、みことばを守り行つて、熱心に祈って忠実に仕えればよいのです。また、主のしもべとも平和を保つて、平和が破られることがないようにしなければなりません。神のみ

ことばを教えて天国に導く主のしもべとの間で平和を破ることは、結局、神との間に平和を破ることと変わらないからです。その次は、信仰の兄弟との間、親子の間、夫婦、兄弟との間、隣人との間に平和を追い求めなければなりません。

このようにすべてのことに平和を追い求めて、何をしても栄える人生になり、主にお目にかかれる資格をいただきますよう、主の御名によって祝福して祈ります。

チョン・グヨン牧師、クオ警察署で特講

本教会のチョン・グヨン牧師(元ソウル女子大総長、大学宣教会総指導教師)がソウル市クオ警察署の要請で1月20日、警察署内の大講堂で特講をした。チョン牧師は「持ち味のある生き方をするには」というテーマで、いろいろな例え話を通し、警察という職業人として家庭と社会に肯定的な影響を与える道を提示して、良い反応があった。



日本支教会4月スケジュール

別府万民教会	4/9(土)	ハンカチいやし集会
東京田端万民教会	4/10(日)	ハンカチいやし集会
大阪万民教会	4/16(土)	ハンカチいやし集会
飯田万民教会	4/20-21(水・木) 4/27(水)	第2回MISセミナー(講師:チョン・グヨン牧師) ハンカチいやし集会
京都万民教会	4/23(土)	創立礼拝(講師:チョン・グヨン牧師)
舞鶴万民教会	4/24(日)	セミナー(講師:チョン・グヨン牧師)
東京万民教会	4/24(日)	セミナー(講師:チョン・グヨン牧師)
大阪万民教会	4/25(月)	ハンカチいやし集会
山形万民教会	4/27(水)	ハンカチいやし集会
松本万民教会	4/27(水)	ハンカチいやし集会
舞鶴万民教会	4/29(金)	創立6周年記念礼拝
名古屋万民教会	4/30(土)	ハンカチいやし集会

Japanese

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クオ区クド3ン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com



愛である神様がなぜ 「保証人となつてはならない」 と言われたのでしょうか？

保証とは、「債務者が債務を履行しない場合に、代わって債権者に債務を履行する義務を負うこと」です。それで、相手の不動産または不動産の留置権、質権、抵当権などの物的担保や、保証、連帯債務などの人的担保が要求されます。

たいていの場合、保証人を立てるのは、すでに自分で負担できる能力と限度を越えたからです。したがって、親や兄弟、隣人や友だち、職場の同僚などで、情や義理からやむを得ず保証人になって、ややもすると大きい被害に遭うことがあります。

保証人になれば、十中八、九は苦しむ

断れなくて保証人になったとすれば、誰を恨むこともできず、その責任をそっくり負わなければなりません。このように保証人になると、十中八、九は苦しむようになるので、人生の知恵が記された箴言を見れば、あちこちで保証人となることを禁じられたのです。

特に〈箴言22:26〉には「あなたと人との誓約をしてはならない。他人の負債の保証人となつてはならない。」とあります。〈箴言6:1-2〉には「わが子よ、もし、あなたが隣人のために保証人となり、他国人のために誓約をし、あなたの口のことばによって、あなた自身がわなにかかり、あなたの口のことばによって、捕らえられたら、」とあります。したがって、自分はもちろん、隣人に「イエス、ノー」をはっきり言わなければ、苦しみに遭うようになります。

まことの愛は決して相手を苦しめません。〈ローマ13:8〉に「だれに対しても、何の借りもあつてはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。」とあるとおり、私たちは大きくても小さくても、隣人に悪を行つてはなりません。自分の益のために相手を困らせたり、相手を苦しめることをしてはいけません。したがって、相手に保証人になつてほしいと頼んではいけないし、何より教会の中でこういうことがあつてはいけません。

互いに愛し合うこと以外は借りがあつてはならない聖徒の交わりは霊的な交わりであり、真理にあつての交わり、霊の愛の交わり、信仰の交わり、聖霊の帯で一つになる交わりです。仮に教会の

中で、聖徒間で保証人になって、お金がやり取りされて間違いが起きたと考えてみてください。

相手と敵同士になるかもしれないし、仮に自分は相手を恨まないとしても、これによる家族の苦しみはとうてい言い尽くせません。重い債務と借金の督促に苦しめられなければならないし、家族がちりちりになって、みな悲惨な境地に落ちたりします。世では深刻な苦しみの中で病気になるかと思えば、自殺したりもするなど、もどかしいケースも見られます。

このように、借金の保証の被害事例は昨日、今日の話ではありません。保証には、借金の保証の他に、身元保証、連帯保証、信用保証など、いろいろあります。こういう場合も、慎重に考えなければなりません。保証人になれる場合もあり、そうでない場合もあります。

自分が責任を負える限度を超えるならば、むやみに保証人になつてはいけません。今日は事がうまくいくようでも、明日はどんな事が起こるかわからないからです。

神の国と義のために保証人になる場合

それでは、神の国と義のために保証人になるのはどうでしょうか？ 聖殿を建築するために教会が銀行からお金を借りることもあります。その保証人になることもあるでしょう。〈ハガイ2:8〉に「銀はわたしのもの。金もわたしのもの。――万軍の【主】の御告げ――」とあるとおり、天下万物がすべて神のもので、全知全能の神は行つたとおり報いて下さる方です。神を愛する子どもが神の国と義のために行つたことは、みな責任を負つて下さいます。

神が保証人になるのを禁じられたのは、愛する子どもたちに利己的な生き方を勧められるのではなく、人は誰でも一寸前を見通すことができないので、むやみに誓約して、苦しみの中に落ちることがないようにされるためです。まず第一に神の国とその義とを求めて、いつも神のみことばにおり生きていくことによつて、すべての上に神の祝福が増し加えられますように。